

令和8年度 新庄志誠館高等学校最上校 学校経営方針

1 教育目標

知・徳・体に調和のとれた豊かな人間性を育て、その能力と特性をいかんなく発揮して国家や地域社会の有為な形成者として貢献できる人材の育成を目指す。特に以下の力の育成に努める。

- (1) 強い心身としなやかに生きる力
- (2) 豊かな人間性と人を思いやる優しさ
- (3) 幅広い知性と創造力
- (4) 主体性と旺盛な探究心
- (5) 広い視野と成長意欲

2 教育方針

教育目標を具現化するために次の方針を定める。

- (1) 生活習慣の確立を図り、自主性・自立性を持って行動できる生徒を育てる。
- (2) 興味関心を喚起する授業実践に努め、基礎学力の定着と探究心の高揚を図る。
- (3) 主体的な生徒会活動や部活動等を通して、逞しくしなやかに生きる生徒を育てる。
- (4) ボランティア活動の充実を図り、豊かな人間性と思いやりの心を育てる。
- (5) 自己理解を促しつつ肯定感高揚を図り、志を高く持たせて進路実現を支援する。

3 スクール・ミッション（本校に期待される社会的役割）

小規模校の良さを生かし、自ら活動する場面を数多く経験することにより、たくましさや主体性を身に付け、ボランティア活動などの地域住民との触れ合いを通して、豊かな人間性と思いやりの心の大切さを学び、広い視野をもって地域社会を支える中核的な人材を育成します。

4 スクール・ポリシー（本校における三つの方針）

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 互いを思いやる気持ちを持ちながら行動できる豊かな人間性を育成します。
- 地域住民との触れ合いを通して社会性を育み、地域社会を支える人材を育成します。
- たくましさや主体性を身に付け、自己実現に向けて高い志を持つ生徒を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 少人数による授業展開など、一人ひとりに寄り添う個に応じた教育を実践します。
- 多様な生徒の進路目標を実現するために、3つのコースを設置します。
- 中学校までの学習の学び直しを重視した学校設定科目を設置し、基礎学力の定着を図ります。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 自己実現に向けて自ら主体的に取り組む生徒を募集します。
- 他者を思いやる心を持ち、ボランティア精神がある生徒を募集します。
- 地域の自然や文化に魅力を感じ、地域社会を大切にする生徒を募集します。

5 令和8年度の重点目標

スローガン『ともに学び、ともに伸びる ～人と、自然と、地域と共生する最上校～』

(1) 学びに向かう力の向上と基礎学力の定着

- ①各教科の見方・考え方を働かせ、教科の本質に迫る授業づくりと授業研究に注力し、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ②生徒の状況を定期的に把握し、家庭学習の習慣化や朝学習の有効活用等を通して、見通しを持った学習を支援し、基礎学力の定着を図る。
- ③ICT活用を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に展開する。あわせて、特別支援教育の視点を取り入れた授業改善に関する研修を強化し、指導力の向上を図る。
- ④SDGs、ESDおよびSTEAM教育の視点を各教科で横断的に取り入れ、探究的な学びを推進する。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- ①互いを尊重し、支え合い、助け合える関係性の構築を目指した教育活動を実践し、誰もが安心して生活できるいじめのない学校づくりを推進する。
- ②規範意識やマナーの向上を徹底するとともに、保健指導やSNS等の情報モラル教育を強化し、事故やトラブルの未然防止に努める。
- ③主体的な生徒会活動や部活動、他校・地域との交流機会を創出し、自己肯定感と社会性を育む。
- ④地域行事への参加やボランティア活動など、多様な他者と協働する体験を推進し、自己有用感と生きる力を醸成する。

(3) キャリア教育の充実

- ①各種面談やキャリア・パスポートの活用を通して自己理解を深め、生徒自らが進路を選択・決定できる基盤を強化する。
- ②各教科、特別活動、総合的な探究の時間を有機的に連動させるとともに、インターンシップや外部講師による講話を効果的に組み合わせ、職業観・勤労観を養う。
- ③多様な進路目標の達成に向け、学習支援、面接・小論文指導などの個別最適な指導を、全教職員が組織的・体系的に展開する。
- ④大学、企業、関係機関等と密接に連携して最新情報の収集に努め、生徒・保護者へ適時適切な情報提供と相談体制の充実により、満足度の高い進路指導を実践する。

(4) 連携強化と魅力発信

- ①学校評価の実施や学校評議員との連携を密にし、関係者の期待や要望を的確に把握する。それらを学校経営の改善に反映させるとともに、地域社会との協働により教育力の向上を図る。
- ②キャリア教育や体験活動の成果を広く公開するとともに、地域施設、地元企業、近隣小中学校等とのネットワークを深め、本校教育への理解促進と志願者確保に努める。
- ③労働・福祉を所管する行政機関等と緊密に連携し、卒業後のセーフティーネットに関する教育機会を設け、自立して社会を生き抜く力を養う。
- ④学校だよりやホームページ等の媒体を多角的に活用して本校の魅力を積極的に発信し、地域住民への有益な情報提供を通じて地域に開かれた学校づくりを推進する。